

< みどりに関する課題 >

< 区民会議からの17の提案 >

< 解決策・アイデア >

剪定や維持管理方法を良くして、質の高いみどりにしよう！

剪定・管理方法

- 公園の一律管理・一律利用は限界！
- 木の枝を切れという苦情と切り過ぎという苦情が来る
- 強剪定で何の木が分からない
- 区民が公園等の管理に携わりたくても受入体制ない

- 提案 1:公園・道路ごとのガイドラインづくり
- 提案 2:適切な管理への理解を広げる情報発信
- 提案 3:お困り解決隊、レベルアップ剪定講座！
- 提案 4:やる気を活かす、「協働」の窓口開設

- 公園や街路樹等のコンセプトに合った管理運営(剪定・樹木更新・管理内容)
- 地域の住民で話し合う場が必要、情報・知識を発信・共有
- 剪定講座卒業生が中低木管理を担い、浮いた費用で事業者の高木剪定の質向上
- 緑化協力員制度やみどり活動団体の連携・ブラッシュアップ

◆落ち葉や剪定枝を迷惑物ではなく、練馬の宝・資源としよう！

落ち葉、剪定枝の有効活用・リサイクル

- 落ち葉を捨てる抵抗感あり。有効活用・リサイクルすべき！
- 落ち葉掃除が大変・・・隣地の雨樋にも詰まる
- 落ち葉への印象や意識を高めるには？
- 所有者と周囲の想いがあり、行政だけでは解決できない

- 提案 5:落ち葉のリサイクルで野菜をゲット
- 提案 6:若者落ち葉スターズ、落ち葉・雨樋そうじ
- 提案 7:まちの木はみんなの木、ねりま落ち葉まつり
- 提案 8:区民会議落ち葉対策チーム

- 集めた落ち葉とリサイクルした腐葉土や練馬産の野菜の交換
- 落ち葉掃き&雨樋そうじボランティア、落ち葉対策雨樋設置の補助
- 活動団体と親子で落ち葉掃き 焼きいも体験 交流
- 落ち葉対策チームの立上げ 落ち葉を活かす方法を考え具体的な行動へ

◆公園・憩いの森・花壇を区民がもっと自由に使えるようにしよう！

公共のみどり

- 税金をかけているのに、利用されていない公園が多い！
- 制約が多すぎて使いにくい
- ボランティアはやりがいや楽しさがないと続かない！
- 区民ボランティアには限界あり！区の予算にも限界あり！

- 提案 9:区民が地域のみどりを調査&ニーズを把握
- 提案 10:地域に1つ「みんなの庭クラブ」をつくる
- 提案 11:ポイント制ボランティアで地域還元
- 提案 12:公園の自由化、公民連携の公園運営

- 手を挙げた区民等が地域の公園や憩いの森の現状や地域ニーズを調査する
- もっと憩いの森や公園を活動団体に活用させて、計画~管理運営まで行う制度
- 公園管理運営に参加 ポイントゲット 腐葉土や野菜、ねりコレと交換
- 公園で NPO や民間事業者が森のカフェ・マルシェ・自然塾・フリマを行い管理費へ

◆お庭・屋敷森・農地等を地域の共有財産として育てて守っていこう！

民有地のみどり

- 近所との落ち葉トラブルで、木を伐らざるを得なかった
- 近所の木を守りたい。何か手伝えることはないか？
- 個人では体力的・金銭的に、みどりの維持ができない
- 税金の負担は深刻で、庭を売るしかない
- 農地がどんどん減っている

- 提案 13:ご近所版みどりの区民会議
- 提案 14:みどりのお手伝いネットワークづくり
- 提案 15:みどりを守る制度の見直し
- 提案 16:みどりのある土地マッチング
- 提案 17:農家の顔が見える身近な農 LIFE を実践

- 地域の住民で話し合う場づくり。オープンガーデン&お茶会でお互いを知る
- 「区民ガーデン」としてボランティアと地域住民で
- みどりは共有財産。税を免除・軽減する。憩いの森や保護樹木に準ずる制度
- 木を残して土地を活かしたい人と木のある土地を活かせる人をつなぐ
- 採れたて野菜で地域イベント等、地元の農業を応援する